

心技館 JOF 組技 A ルール

試合時間

3分1R

試合コスチューム

短パン・ハーフパンツ・スパッツいずれも可。

上半身は男女関係なく・Tシャツ・ラッシュイづれかの着用を義務づける。

試合進行妨げる衣服や、金具付きなど怪我の恐れがあるものは不可とする

レスリングシューズは着用不可とする

試合用具

・片手、片足にコナー側色のリストバンドを装着する

※リストバンドは主催者が用意したものを装着する

勝敗

- ・サブミッションによる一本勝ち
- ・ポイントによる優勢勝ち
- ・反則3回、およびレフリーが悪質と判断した場合による反則負け
- ・判定による判定勝ち
- ・レフリーが危険と判断した場合によるレフリーストップ
- ・レフリーが続行不可と判断した場合によるレフリーストップ

判定基準

- ・レフリー1名による判定とする
- ・エフェクティブ>アグレッシブ>ジェネラルシップとする

※ 反則があった場合、考慮した上での判定とする

※ 判定による選手や第三者の抗議は一切認めません

サブミッション、ポジショニングによるポイント基準

■サブミッション

- ・ サブミッションによるタップアウト、またはレフリーストップで一本勝ちとします
- ・ サブミッションをセットした選手は2ポイントとします

※サブミッションのセットポイントは、レフリーの判断とします

※他のサブミッションに再セットをしても加点はありません

■ポジショニング

・ ガード、ハーフガード、サイド、トップ、マウント、バック(シングルフック可)いずれかのポジションを3秒以上キープすると1ポイント、テイクダウンからは+1ポイントとする

※ポジショニングを移動した際の加点はありません

※相手選手が引き込んだ場合のガードポジションのトップは1ポイントとはなりません

※引き込まれたガードポジションから、トップの選手がサブミッションアタック(フットロックは含まず)を出来るポジションに移行した際は1ポイントとします

反則

反則は軽微な反則は口頭注意から、改善が認められない場合は注意(-2ポイント)、更に反則をした場合は警告(-4ポイント)、更に反則をした場合は失格となります

【主な反則】

- ・ 全ての打撃
- ・ スタンド状態でのバックチョーク以外の全てのサブミッション
- ・ 手首、脊椎への関節技
- ・ 後頭部を強く引き、頸椎を圧迫させる絞め技
- ・ 前腕またはスネを押しつけて圧迫する絞め技
- ・ バスター、スパイクの禁止、又は投げの際に頭部から落とす行為
- ・ 体を浴びせての大外刈りで相手を投げる行為
- ・ スタンドから飛びついてガードポジション(バックを含む)をとる行為
- ・ 相手の体に触れずグラウンド状態になり、引き込む行為
- ・ 相手の指、競技道具、衣類をつかむ行為
- ・ 金的、目への攻撃、又は指による突き攻撃、又は道徳上許されない行為
- ・ カニばさみ、かわず掛け、さば折り等の怪我を誘発する投げ技
- ・ 足に足を巻き付けて投げる行為(スタンドでのツイスターフックの禁止)
- ・ 故意にリング、及びマットの外に出る行為
- ・ 整髪量、ワセリン、体にオイルを塗付する行為
- ・ レフリーへの抗議、罵倒、暴力行為、又は指示に従わない行為
- ・ 悪質、また競技に著しく支障をきたす反則についてはレフリー判断で反則負けとなる

※ その他、反則細事はレフリーの判断とする

※ 質問がある場合は必ず心技館、遠藤までお問合せ下さい

関節技注意点

- ・立関節技や体重を浴びせての関節技は禁止です
- ・後頭部を強く圧迫し頸椎を伸ばす絞め技は禁止です
- ・足関節技はアキレス腱固め、膝十字固めのみとする
- ・関節技に関しましては、形になった時点でレフリーの判断で、見込み一本勝ちとします
- ・足による腕がらみ(アームロック)等の腕への関節は一切禁止です
- ・グラウンド時のサブミッション中に相手に持ち上げられた場合はブレイクとします

【関節・絞め技でのポイント】

クラッチが切れれば技が成立する状態での関節技は2ポイント、絞め技の形となった場合2ポイントするサブミッションセット中でも、膠着した場合はレフリーの判断でブレイクとします
その他、裁量はレフリー判断とします

【有効な関節、絞め技】

- ・腕十字
- ・アームロック(腕で極める場合のみ)
- ・アキレス腱固め
- ・膝十字
- ・三角絞め
- ・チョーク(頸椎を強く圧迫する、ガードポジション全般のフロントチョークは禁止)

■その他わからない事があれば、遠藤までご連絡いただきますよう、宜しくお願い致します。
ルールの把握は自己責任とさせていただきます。

心技館 遠藤 090-3511-7489